

ホカニナイ

- 0 はじめに
- -無いものを創る ホカニナイ
- 2 |3 ネッツ ―「必要」を基準に「最適化」を捨てる ヨータス
- ――メカナイズを味方に
- 5 ということで
- |補論 小説というもの

はいまいど、ながたでございます。

毎年恒例になりました創作覚書、Ver.2016です。

とぞご容赦を。今回初めて触れる方は幸いです。最新理論をいきなり読めますので(ただ いいかげん飽々されてるかもしれませんが僕が誰よりも辟易してますので(笑)、

今回のキーワードは「判断基準の外部化」です。

し最新が最善とは限らない)。

後述しますが、「判断」というのが人間にとっては重い。 ならば、「判断」を軽くできれば楽になる。

と当てはめるだけでOK/NGがすぐわかる。どんどん先へ進める。 それには、「判断基準」を前もって決めておく。できればそれがたった一つなら、ポン

できた!

こんな感じ。

どうです夢のようなうまい話でしょう。

特に創作でのたうち回った・回っている方には、 詐欺とわかっていても思わず手が出る

いや詐欺じゃないです。

案件ではないでしょうか。

創作という道を進むには、つまり旅をするには、三つのものが必要です。

目的(温泉とか景色とか)

移動手段(クルマとか徒歩とか)

・エネルギー(体力・知力・時の運)

もちろん旅などせず、うずくまって時を過ごすのもまたひとつの生き方ですが、 いまこ

んなものを読んでおられる方は、止めたって旅に出るのでしょう。

その三つを、 いいでしょう、行きましょう! 「判断基準の外部化」にしたがって、名付け直してみました。

4

・ホカニナイ

・ヨータス

・ネッツ

少し詳しく見ていきたいと思います。 この三つは旅の要素と同様、三位一体で、おたがいに影響しあいます。以下、それぞれを 日本語もじりなので、なんとなく伝わるかと思います。だいたいご想像のとおりです。

5

──無いものを創る■1 ホカニナイ

●「ホカニナイ」とは

創作の目的は何か。

それは「他にない」ものを創ることです。

これが基本中の基本。

だって「創る」「作る」と並んでるぐらいですから、ここに始まりここに終わると言っ

てよい。

を見つけるためでしょう。その反応は心の動き=感動を引き出します。 人間は「見たこと無いもの」にビビッドに反応します。おそらく敵を避け、 獲物や果実

過ぎた瞬間から忘れてしまいます。 フック、引っ掛かりが無いと目がツルツル滑って、あるいは耳をするするスルーして、

まずは「いままで無い」を目指す。

ましょう。 とりあえずそういうものを創れるかどうかはさておき、 「判断基準」として採用してみ

- ・つくるべきかどうか
- ・どのぐらいできそうか
- ・できたかどうか

す。 など、創作の各段階において七転八倒迷う判断を、これひとつで外部化(客観化)できま 繰り返しますが、「判断しなくていい」ととても楽です。それは超効率化に繋がる。

割アップとか中途半端なものではないですよ、一○倍とか!

たぶん……

「おもしろい」とか何ですか。「いいもの」とか難しいでしょ?

「感動する」って誰がいつどう?

が「いい」かどうか、「面白い」かどうか、「泣ける」かどうか、そういうのは受け手に おまかせ。作者は「ホカニナイ」ただひとつを目指す! 「ホカニナイ」一本で、そういうとても難しいことを、全部考えなくていいのです。それ

とからついてくるもの。まずは温泉! 道後温泉を目指したら、しまなみ海道も、 本館裏の歓楽街も、 一六タルトも、 それはあ

指摘を受けることもあるでしょうが、それは構わないです。創ってる時に本人が「ホカニ もちろん個人では事前の調査などに限界があるので、出したあとに「それもうある」と

ナイ」と信じていれば、それで。

です。 よね。楽しいと元気でますし伝わりますし、ぜんぶうまく回る。ホカニナイ=タノシイ、 なによりもまず単純に、「新しいことをやる」っていうのがすごく楽しいことなんです

●「完成度」必要なし!

この判断基準の強力な副次効果として、これを主眼に進むと、

「完成度を考えなくて良い」

という卒倒したくなるほど素晴らしいメリットがあります。

逆に言うと、完成度が気になるようでは「ホカニナイ」が足りない。 初めて生まれるものだから、「完成度」なんか存在しないわけです。

それは何かというと、イメージとして持っている最終図柄に対して「足りない」と感じて 制作中に「あぁこれじゃ描き込みが足りない」なんて思ってしまうことはよくあります。

いるわけです。

これを一般的に「完成度が足りない」と表現するわけですが、その感じ方がそもそも間

違っている。

あなたがOKといえばそれでOKなのです。 あなたのイメージはあなたのもので、あなたが世界で宇宙で初めて得たものなのだから、

ほら、楽になったでしょう?

それは極論ですが、まず「ホカニナイ」でチェックして、 そのあとに口当たりとか、

べやすさとか、見栄えとか、そういうものを検討する。 往々にして目の前のものが「アリキタリ」(「ホカニナイ」の対語)だから、それを見

つめたくないから、認めたくないから、コチョコチョコチョコチョ細部を弄り回すことに

なるのです。

細部弄りの方法論は世間にたくさん流通しています。キリがないからいくらでも書ける

わけですね。

こないだちょっと用事で『男子が三〇歳までにやっておくべきこと』的な本を眺めてた

んですが、もう山のようにあって、

と若き日に『東大に行ける勉強法』的な本を読んだ時に感じた憤りが甦りました。 「こんなこと全部できる奴はこんな本読んどらんわ!」

いつの世も同じですねえ。

以上余談。

●どこかが「ホカニナイ」ならいい

当然です。 ことをポイと捨てる(ように見える)のは、常に「ホカニナイ」を目指しているのだから、 ピカソやビートルズやマイルス・デイビスのような超大物が、 ある日今までやってきた

勇気とか、飽きっぽさという問題ではない。

とか、司馬遼太郎先生とか。ただその場合でも内容がホカニナイならば、毎回、 回はこう来たか」と受け手は新鮮に感じるものです。 もちろん方法論は同じまま、中身を新しくする、というケースもあります。宮崎駿監督

それはどちらでもよいと思います。

もっというと、どこかのレイヤーで「ホカニナイ」ならいいです。 企画・キャラ・スト

ネタもなんでも良いです。

ーリー・語り口・作者のキャラ……なんでも。

皮肉めいた言い方になりますが、多くのお客さんは「ホカニナイ」 を見に来るのであっ

て、ネタを見に来るわけではない。

鳥獣戯画も若冲も、どこででもなんぼでもゆっくり見られるじゃないですか、 複製品や

図版でよければ。なんで三○○分並ぶんですかアホですか。

それはそこにしかない、「ホカニナイ」からです。 しかし我々は五時間並びたくなる気持ちをよく知ってます。

できれば「わかりやすくホカニナイ」となお良いです。

りも「ホカニナサをわかりやすく伝えよう」とする方が、伝わりやすい。 いですが、そうでない場合でも、極端に言うと「魅力をわかりやすく伝えよう」というよ 名画のように周辺環境全体でホカニナサをアピールしてくれているのが一番わかりやす

「吸引力が持続する掃除機です」 「これが世界でただひとつの掃除機や!」 いいですね。なにがただひとつなんかわかりませんけど、

よりずっといい。これです。

「ホカニナイ」のつくり方、3つのアプローチ

でまた3つのアプローチがあります。 さて、では「ホカニナイ」つまり「いままでに無いもの」をどう作ればいいのか。ここ

なんでもだいたい3つにしておけばそれっぽいのです。

- 1 神様が降りてくるのを待つ
- 2 既存のものを弄くり倒す

3

マトモなら新しい

り効率は無限小の手段です。 1 は みなさんもご経験のものです。結果はおよそ最高ですが、最も頼りにならないつま

のこと。小説ならば『一億三千万人のための小説教室』(高橋源一郎)がいいかな。 この方法論としては名作『アイデアのつくり方』(ジェームス・W・ヤング)をご参照

世の中の進化は急激なステップを踏むものだけではなく、漸進的なものもありますので、 既存のものに何か加えたり掛け合わせたりニコイチにしたり……というものです。

世にあまたあるアイデア本をご参照のこと。このやり方も重要です。

ただしホカニナサは必然的に薄くなりがちなので、そこを「目のつけどころが鋭いでし

ょ?」と演出するのが腕の見せ所。

い)。薄々お気づきかもしれませんが。 3ですが、実は世界は発狂しています(詳しくは拙書『抗発狂薬』などをお読みくださ

のです。狂人以外の何物でもない。 の自殺道具を世界中で振り回して持て余して、日本などいまから持とうなんて思っている 証拠は「核兵器の存在」だけで十分でしょう。「せーの」で止めれば済むものを、大量

ということは、マトモなことを言えば、 「ホカニナイ」のです。

恐ろしくもカンタンな理屈ですね。

ただしこの場合、「発狂しているという事実に向きあいたくない人を相手にする」ので

「通じない」という別問題が生じます。

こは後述します。 このアプローチを採用する場合、ここの打破方法、通し方を考える必要があります。

▶使えるものはなんでも使う

ません。その場合には、 どの作戦を取るにしろ、 真っさら、ピカ新がベストなのですが、人生そう簡単にはいき

- ・援用してくる
- ・流通している記号を使う

なども遠慮無く活用しましょう。

フスケッチばかりしていても腕は上がりませんよ。ああ耳が痛い。

できんことには何も始まらないので、まず「つくりあげる」というのがだいじです。

ラ

援用というとパクリと紙一重ですが、パクリの定義は、

「バレると自分が困るもの」

ですから、そうでないようにできあがればそれはパクリではないのです。

ホンマか?

きたわけですから、 紀伊國屋文左衛門はみかん運んだだけで何百年後も梅田の一等地に本屋を出すことがで 「流通」というのはだいじな仕事です。

それでも不安なら、

できるだけバレない遠いところ(時空間・ジャンル)から取ってくる むしろバレバレでパロディだと開き直る

・著作権の切れている古いものをリメイク

などがいいでしょう。

しかし、こういうことをしていると陥りがちな罠は、一生懸命その、

・コピペ&マッシュアップばっかりやってしまう

という誘惑です。これはいけません。

いるのですから、そっちが主眼で、そのために材料を取ってくるのです。 家を建てるために、 いま何をしているかというと、最終的に「ホカニナイ」を実現するために腕をふるって いい檜を買ってくる。あっちの材こっちの石と集めるのに夢中にな

●才能や経験は?

ってはいけません。

「ホカニナイ」かどうかは一瞬でわかります。

る可能性が高い。 ということは、 熱意や努力は基本的に不要です。「頑張ってる」時点ですでに間違って 「なんか足らん」ともがいてるわけですから、探すか創るかせねばなり

ません。

かどうか判別できません。 本人の知識や体験の幅が広くないと、 才能や経験は、あるいはもし熱意や努力がモノを言うとするなら、ここです。 つくり上げた/拾ってきた時に、 「ホカニナイ」

彼をお 手の作品は一目でわかるものです。 また経験の末、自分なりの「必殺技」が確立していれば、つまり「その技を使えるのは いてホカニナイ」までいければ、 なにをやってもホカニナイです。いいですね。

また 「ホカニナイ」は日々刻々変化します。

人の過去作が蓄積されていくと、だんだんホカニナクナクナッテきます。どんな名手であ っても、常にここ、つまりアリキタリ重力圏から離脱する心構えや習慣化が必要になって 村上春樹先生はまさに「ホカニナイ」ですが、感化された多数のモドキが出現し、ご本

きます。

「ホカニナイ」は無限にある

創作にあたって僕らは、「ベストなものをつくろう」と思いがちですが、 「ホカニナ

イ」を導入すればその必要はありません。

世には「ベスト」が一つあるのではなくて、「ホカニナイ」が無限にある。

それでいくと「オンリーワン」という表現もよくないですね。

それは結果であって、目指すものではない。

マトモなだけでOK

前述3番めのアプローチ、

3 マトモなら新しい

についてもう少し考えます。

世の中は東大話法でできています。

的に攻撃することで、自分の主張を通す論争手法およびそれを支える思考方法」 自らを傍観者の立場に置き、自分の論理の弱点は巧みにごまかしつつ、相手の弱点を徹底 めて言えば 東大話法というのは安冨歩先生(東京大学・東洋文化研究所)が考えた概念で、 傍観者の論理・欺瞞の言語―』安冨歩(明石書店)をご参考のこと) 「欺瞞的で傍観者的」な語り口のことです。 (詳しくは『原発危機と「東大話 です。縮 「常に

葉の使い方」ではないかと思います。 ますか近代社会ならばどこでも、いや人間社会であるならば、多かれ少なかれ現れる「言 これはもちろん東大卒のエリートが使いこなすだけではなく、現代の日本社会、といい

ものが東大話法) て」)が発生しますから、 なぜなら人間同士が関わりあいを持つ時、必然的に盲点(=「そのことは置い その「盲点を隠す話法」が成立します。 (この最も洗練された . と い

膨大な、売れ残って殺処分されたペット候補達の怨霊、という盲点からは目をそらしてい るわけです。 私たちは誰しも、ペットショップで「可愛い~!」と歓声を上げる時、その後ろに居る

こんなトラップが現代生活には山のようにあって、まともな精神を持ってたら発狂する

しかない。 だから先手を打って発狂することでまともなフリをしている、 のがわれわれで

だから、マトモなだけでホカニナイ。

先ほど言いましたが、先日自己啓発本をたくさんチェックする機会がありました。

これがすごい。

あたりまえのことしか書いてないのです。

を出すのか、といえば、あたりまえが世の中に無いからです。 なぜ人はこんなものを求めるのか、書店では百花繚乱でベストセラーランキングにも顔

だからすごく感動する。

でもいざ自分がやろうとしてもできない。

普段から欺瞞言語にまみれて生きてますからね。

ッピングをする。 じゃあまた別の自己啓発本を……ということで、依存症ホッピングならぬ自己啓発本ホ

また自己啓発本作者が儲かります。

これも「マトモなだけ」で惹きつけられる例です。

●マトモを送り込め

すると今度は、前述のように「聞いちゃもらえない」という難問が立ちふさがります。 では、こんな世界にマトモを送り込もうとします。

ここを突破する作戦が必要です。 (こちらも拙書『作文メモ』をご参照あれ)

作戦は大きく二種類あって、

・ステルス

圧倒的なパフォーマンスでメッセージを隠蔽し、呆然と目を奪われている隙に、

意識に正しい言葉を送り込む作戦です。

す。 ただし、マイケル・ジャクソンや宮崎駿のような天才のみが実行できる難行自力で

こんなもんできるか!

・盲点回避

無

要は触れる問題だけ触る。すくなくとも欺瞞は回避できます。 特に欺瞞にまみれて

いない子ども向けであるならば意味があります。

ではないですが)、対症療法に過ぎず、自分を狂わせる原因に対しては無力です。 われ大人は嫌な思いをしません。欺瞞なきその世界においては、マトモだからです。 ただしターゲットが狭められてしまう上に(子ども向けを大人が楽しんで悪いわけ 『プリキュア』のような子ども向けコンテンツで愛・夢・正義が語られても、われ

……と、決め手がない。

他に方法はないでしょうか?

●京大話法

さて、前掲書『原発危機と「東大話法」』を読んでいたく感心した僕が、

「東大の話法があるんなら京大の話法もあろう」

ろ、当の安冨先生(もちろん京大卒)が「ところどころわからないがおもしろい」と言っ てくださいました。元祖東大話法と二つ並べてみましょう。さらっと読み流してください。 と身近な京大出身者を頭に思い浮かべつつ、安易にリバースしたものを日記に書いたとこ

東大

- 自分の信念ではなく、 自分の立場に合わせた思考を採用する。
- 自分の立場の都合のよいように相手の話を解釈する。
- 3 都合の悪いことは無視し、 都合のよいことだけ返事をする。
- 5 4 どんなにいい加減でつじつまの合わないことでも自信満々で話す。 都合のよいことがない場合には、関係のない話をしてお茶を濁す。
- 7 6 自分の問題を隠すために、 その場で自分が立派な人だと思われることを言う。 同種の問題を持つ人を、 力いっぱい批判する。
- 9 8 自分を傍観者と見なし、 に設定し、解説する。 「誤解を恐れずに言えば」と言って、嘘をつく。 発言者を分類してレッテル貼 りし、 実体化して属性を勝手
- 10 スケープゴートを侮蔑することで、読者・聞き手を恫喝し、 迎合的な態度を取らせ
- 1 相手の知識が自分より低いと見たら、 自分の議論を「公平」だと無根拠に断言する。 を持ち出す。 なりふり構わず、 自信満々で難しそうな概念

12

- 13 自分の立場に沿って、都合のよい話を集める。
- 羊頭狗肉
- 1 6 1 5 わけのわからない理屈を使って相手をケムに巻き、自分の主張を正当化する。 わけのわからない見せかけの自己批判によって、誠実さを演出する。
- ころを見せる。 ああでもない、 、こうでもない、と自分がいろいろ知っていることを並べて、賢いと
- 1 8 落とす。 ああでもない、こうでもない、と引っ張っておいて、自分の言いたいところに突然
- 19 全体のバランスを常に考えて発言せよ。
- 20 る。 「もし〇〇〇であるとしたら、お詫びします」と言って、 謝罪したフリで切り抜け

京大話法

2

- 1 自分の信念しか考えな
- 3 都合の悪いことに思わず喰ってかかる。 分の信念に都合のよいように相手の話を解釈する。
- 関係のない話には関心がまるで無い。

4

10 1 7 9 8 7 6 5 1 8 1 5 13 12 1 る。 あれ わけ よせ 自分の議論 自らスケープゴートになってみせ、つられて侮辱する人の揚げ足をとりまくって、 竜頭蛇尾。 自分の議 相手の知識が自分より低いと見たら、 あれもダメ、これもダメ、と言うが気になるのでチェックはしてい ゲラゲラ笑う。 その場でもっともアホなポジションに立ちたがる。 自分の問題をわざわざ晒してネタにする。 11 「極端な話」と言って、真実をぶちまける。 「客観的」に他人の発言を解説しているはずが、そのうち自分の信念を語り出 7 ばい かげんな話をするとき目が泳ぐ。 のわからない奇声を発して相手を驚かせ、 論 0 に が に他 都合の悪い特異点の方についつい心惹かれて話が進まな 曖昧だと自分自身が一番良くわかってい これもいい、 人の見せかけに猛然と噛み付 と言って周囲の反応を見るが結論 頼ん でもいない 場をリセットする。 7 て、 る。 ひどい人だと思 のに懇切丁寧に教えたが は最初から決まってい

1

9

常にバランスブレイカー。

る。

る。

わ n

20 「すまん。謝る」で全部済まされると思っているのでよく謝る。

とどのつまりは、

こうで、これでは、「言ってる内容はメチャクチャだけど言い方はマトモ」

なのが東大話法で、

というのが京大話法です。「言い方はメチャクチャだけど内容はマトモ」

「立場しか考えない」

対

「自分しか考えない」

「傍観者の理屈に基づく欺瞞言語」

「当事者の感覚に基づく本音言語!

対

ハインケス・バイエルン対クロップ・ドルトムント……は違うか。

すが、ところが冷静に考えてみると、これがなかなか心理的ハードルが高い。 |記のように並べて書くとたいへん面白そうで、「これでいいじゃん!」と思うわけで

こんなヤツいたら楽しいけどめんどくさいですね。

己肯定感と、強いハートが必要になる。 くはないものです。この京大話法を現代日本で使いこなすには、相当のへそ曲がりと、 『嫌われる勇気』(岸見一郎・古賀史健)がベストセラーですが、人間正直、 嫌われた

りにすべきであって」 「何を言ってるのか、アーティストたるもの、そういうめんどくささや頑固さをむしろ売

「またあの人が変なこと言うたはるわ」 確かにそれはそうなのですが、それも強まりすぎると、

と黙殺・スルーされてしまいます。これでは当初の目的から逸れてしまう。 京大話法、 使える人は使えばいいと思うのですが、もう少し穏便な方向はないものでし

●ジャム

ようか。

(と本人も周囲も思い込んでいる)側だから、こういう無茶苦茶ができる。 ちょっと見方を変えると、東大話法というのは強者の論理です。主導権を握っている

器を喪うのを待っているだけです。 さも対話してるかのようなフリをしているだけです。「アンダーコントロール」とか しい判断」とか、意味の無い文字列で煙幕を張って、相手が呆れて言葉、つまり弱者の武 ハッキリ言って理屈なんかどうでもいいんです。言葉なんか強者には本来必要な のを、

弱者の戦術というと真っ先に思い出すのがガンディーの、 これに対抗するには、弱者の闘い方ではない か。

「非暴力不服従」

です。これの創作版を見い出す必要がある。

を引き起こす。そうすると脳を使わず流されていた人々も、 システムに対抗するには、「おかしいな?」と感じたらそこで立ち止まる。渋滞 マイケル・ジャクソンがその名も『JAM』という曲で歌うように、スムーズに流れる ここで参考になるのが「ジャム」という概念です。 「あれ?」と連鎖的におかし (jam)

本のマンガでも『Dr.スランプ』(のアラレちゃん)から『よつばと!』(のよつば) ジャムりまくる。 スムーズな人々の中に、「真っ当な人」(でも周りからは変人と思われている)が居ると、 いたるまで、すっかり現代社会というスムーズさに慣れてそれを動かす一部と成っている チャップリンの『モダンタイムス』、ジャック・タチの『プレイタイム』、あるいは日

それを観て我々はなんだかホッとするのです。

●カオス

のもいいでしょう。とどのつまりは っているのでもいいですし、作者がジャムってて「あの人が書くものだから」と思われる 作品そのものが社会の中でジャムることをめざすには、作品内のキャラクターがジャム

に対抗すればいいわけですから、いわば、「構築された(スムーズな)システム」

のように作れば良い。「即興的な(ジャムる)カオス」

カオスというとカッコイイですが、要するに 「ある程度コントロールされたムチャクチ

ヤ」あるいは 「目標に向かって不規則に遷移する行動形式」です。

かはわからない。 のように、 自信満々嘘八百、玉石混淆で、百の与太話の中に一つの真実がある。ジャズセッシ 各楽器は各楽器の音を出すことは間違いないけど、結果なにが飛び出してくる ョン

落語なんかいい例ですね。

に行動して、ジャムってしまう。そこが沁みる。 ジャムりまくる熊さん八っつぁんの姿を観て笑うわけですが、彼らはおおよそ大真面

お祭りもそうです。

時間。 れば一時間遊ぶ大義名分が立ちません。 日常の中の非日常、神様 でもこの一時間があるからこそ一分を捧げに行くわけですし、またこの一分が無け の前でお祈りを一分捧げたら、 あとは縁日見て回って遊んで一

になるから。 いかげんであればあるほどよいのです。その方が、だいじな所が神聖に・清らかに・厳か 大切な内容ほど、アホで無意味なものをたっぷり用意してマスクする。 それは適当、い

TOP GEAR というBBCのクルマ番組では、 司会の三人が各車種についてかなり言

が身体を張って世界中で超おバカな旅やチャレンジをし続けているからです。だから真面 いたい放題辛辣な批評を加えるのですが、しかしそれが嫌味に聞こえないのは、この三人

●カオスカウンター理論

目な話も耳に入る。

すと、 ということで、具体的にカオスニムチャクチャを構成する技を思いつくまま挙げてみま

- · 嘘
- ・おおげさ
- フェイク/紛らわしい
- テキトー/E加減
- 皮肉/イヤミ
- ご都合主義/デウス・エクス・マキナ
- 無立場/身も蓋も無い
- , 自己憐憫

- 神様(視点)
- ・あいまい
- アンバランス(極論)

次から考えなくてよい」という強力便利機能を(一旦でも)停止させる、そういうものな らなんでもいいと思います。 他まだまだあるでしょうか。 人間 0 脳 が持つ、 「まとめてパッケージして機械化して、

で、これらを駆使して、

真面目なテーマが出た瞬間、 それをカオスでひっくり返す

間、 カーでもボクシングでも同じ。「あっ、ここで(見たくない)真実が来る」と身構えた瞬 攻めようと相手が身を乗り出した瞬間、この瞬間が実は一番防御が崩れています。 まったくのアホが飛んで来る。「なーんだ」とホッとした瞬間、 が僕がいま考えている「カオスカウンター理 一論」です。 真実を叩き込む。 サ 順 ッ

番は逆でも可。

あるいはむしろ真実なんか無くてもその周辺をぐるぐる回りながらバカを並べれば、

「あれ? どうして私は身構えているんだ? こんなヨタ話に」

と引っかかる=ジャムです。

押してから引くと体勢は崩しやすい。 「緊張が緩和する時、笑いが生まれる」と見抜いたのは桂枝雀師匠ですが、組んだ相手を

が生まれる。 もポンチ絵でもジョークでも混ざると、ニヤッとした瞬間、 政治的議論で、一本調子で正義を振りかざしてもおたがいすれ違うばかりですが、歌 相手の言葉を受け入れる余地

要は相手の「構え」を壊すわけです。

的メリットとして、 構えを掻い潜る、構えの外だけ狙う、そこまで高度な技術は要らない。この作戦、副次

基本メチャクチャなので制作コストが物理/心理とも安い

です。手数どんどん出して、一発でも入りゃめっけものです。

いや、机上の空論ですけども(笑)

多いのです。それにはいろんな要素があるんでしょうけど、とにかくいま原因はさておき、 を組むように緻密に組むより、ざっくりテキトーな方が、サラッと受け入れられたことが でも僕の経験的に、うまく行ったケースを思い出すと、四角四面に真面目くさってレゴ

現象として、創作物に関しては、

という原則があるんじゃないかなあ、と。常にではないにせよ。 「そもそもカオティックな方が通じやすい」

それだけのことか!

また意識してやってみます。巧く行ったらまたご報告。

●まとめ

す。もちろん新しく編み出してもいいし。 やり方についていろいろ見てきましたが、 作戦はご自身に向いたやり方でいいと思 いま

めざすは「ホカニナイ」一本。

ヒアウイゴー。

■2 ヨータス

—「必要」を基準に「最適化」を捨てる

●ヨータスとは

ろうか、考えてみます。 いままでは「どんなものを」つくろうか、考えてきましたが、次は「どうやって」つく

りますが、小さな離島を目指すなら小船で行くしかありません。 「ホカニナイ」を目指す時に、それをどんな感じで創っていくのか。 東京 ―大阪を移動するなら新幹線・飛行機・高速バス・マイカー……と様々な手段があ

替えたり、それはそのあとの話です。 させること」が最優先です。美しく飾ったり、綺麗に整えたり、わかりやすい構造に組み 「ホカニナイ」は文字通り、他に類例の無いことなので、まずそれを「この地球上に出

いや、そもそも後も先も、いま初めて生まれ出るモノに対して、そんなことが可能なの

見るものですもんね。じゃそれに意味がありますか? ありませんね。 でしょうか? ひねったりこだわったりして、伝わりますか? 伝わりませんね。 初めて

と名づけましょう。機敏な小型スポーツカーのようでいいですね。 ということで、「できてればいい」すなわち「用を足せばいい」。これを「ヨータス」

できあがればそれでOK。ホカニナイを志向する限り、手法はヨータスになる。

カンタンですね。

▶「最適化」の放棄

があります。 「ホカニナイ」をめざすと「完成度」を捨てられる、というのと似てる、 「ヨータス」 の巨大なメリットとして、「最適化」 (文法間違いなどの物理ミスを除く) という超めんどくさい作業からの解放 というか原理は

用を足せれば目的完遂なのだから、それ以上触るところは原理的に無い。

同じです。

れる「ホカニナイ」的なものを目指すべきだ、とさえ言えるほど、「最適化」というのは 言い過ぎにしても今も膨大に浪費させてしまっているのではないか、と思います。 コストの重い作業であり、このコストが多くの人生を破壊してきたのではな むしろルートを逆に辿って、「最適化」しなくていい から「ヨータス」でつくり上げら ۲ ۱ か、 破壊は

使える脳力が残りません。 何かをつくる」とか、「アイデアを思いつく」といった遥かに重要で、価値のある作業に ような状態であり、あっという間に脳が疲弊し果ててしまいます。そうすると、 最適化というのは 「判断」という高コスト作業が終わりなく延々と続いていく、 地 0

をまた買ってもいい金額であるにも関わらず。(まあそれを楽しんでるんですけど。ちな webのレビューやYouTubeの動画を見続けてしまいました。いちばん高いのでも二万五 みに二万五千円のいいの張り込みました) 千円程度、だいたい一万円前後のものですから、パッと買って気に入らなければ新しいの ライトの最適化」に――何日にも渡って何時間もAmazonやヨドバシ・ドット・コム、 偉そうに言ってますが僕もつい先日、デスクライトを新調するのに——つまり「デスク

るものです。さらに今はネットがありますから、

日常生活でさえ、この最適化要求、「いちばんいいものを」という欲求は苛烈に人を縛

「もうちょっとなんとかならないか」と

)「デスク

思 い出すと、情報が黒四ダムを決壊させたかのように襲ってくる。

る前に一五四時間寝ずにスタジオ作業をしたという噂がありますが、できるできないは別 と一言、あと一筆、そこを限界まで追い込みたくなる。先日亡くなったプリンスは、 まして心身を集中して叩き込むような創作活動においてはいわんやおや。あと一手、 倒

でも死んだらあきません。

にして気持ちは

わかる。

くコンピュータのアルゴリズムのように)計算リソース=脳力=エネルギーを食い過ぎま 使して近似解を得る方法を編み出していたとしても(たとえば巡回セールスマン問題を解 間違いなく計算量爆発が起きる事象であり、人間には到底計算不可能です。 そもそも大量の要素が複雑に絡み合う創作活動において、「最適解」などというものは 経験などを駆

多くの作者たちが今日も、

す。疲労が溜まりに溜まって、

持続できない。

と焼き上がった陶器を床に叩きつけて割っています。「納得がいかーーーん!」

でもその 「イメージと違う」という話なのですが、 「納得」ていったいなんなんですか ではその 「イメージ」 が正解

ま目の前にある「それ」は不正解ですか?

正解なんか無いですよね。

はあくまで「別のもの」です。ヴァーチャルとリアルはどこまで行ってもズレがある。 自分の中にあるイメージが正解、という考え方ももちろんできますが、イメージと現物

「同じ」には絶対にならない。

できたとしても、それが本当に魅力的かどうかは誰にもわからない。 「写し絵」であったとしてもできるだけ近づけたい、それはわかるのですが、 画家のボブ・ロス氏が絵画教室で口癖のように言うのが、 もしそれが

「失敗なんて無いんです。

すべて楽しいアクシデントなんですよ」

まさにここを指摘しているのだと思います。 まその目の前にある、自分の手で生み出したそれ、それは「あなたのイメージとは違

う」ことはあっても、万人が「失敗作である」と認めることなどないのです。

●記号連結でいこう

最適化が捨てられるのはいいとして、ではどんな感じで進めればい د يا 0 か。

それが「記号連結」です。

して表します。 人は表現したいなにかがあったら、それを万人に流通している記号(の組み合わせ)に

ていることは、 創作は大きくイメージングとメイキングに分けられると思いますが、 メイキングでやっ

「このイメージをどの記号で表すか」

を延々と繰り返しているだけです。

ならば、その「表し方」は、必要十分な(=「ヨータス」)記号を、必要十分なだけ並 ただ、その「表し方」の最適化で悶え苦しんでいるわけですね。

べれば良い、と割り切ればどうでしょう。

記号のクオリティを追わない

美しい記号、魅力的な記号など存在しない。

イメージをキッチリ表してくれる記号がいい記号。それ以外に選択の基準はない。

→「最適化」の放棄。

記号の組み合わせの美しさも問わない

ネットワークの美しさを追求するのは異常に非効率 (本棚を美しく並べるのに似てい

る 。

→「最適化」の放棄。

全体の構成も考えない

るのは無駄。 すく」するが、それ以上の付加価値は生まない。価値を生まないので、時間を浪費す シーケンシャル(順並び)か、それこそアットランダムでもよい。構成は 「わかりや

→「最適化」の放棄。

逆から言えば、以上三点が伴わなくてもいいものが作るべき価値のあるもの。 それすなわち世の中に無いもの、「ホカニナイ」です。

●「すること」の判定

そうは言っても何をして何をせざるか、それは思わず悩むものです。

していて、決めきれない。 「ホカニナイ」や「ヨータス」を振りかざしてみても、AとBが同じぐらいそれらを満た

こういう時もできるだけ脳を使わない。

身体とか、感覚とか、心とか、魂とかに聞 いてみる。

つまり簡単に「したいことをする」でいいのですが、優柔不断を自覚してる方、決断に

時間を掛け過ぎ気味の方、あるいは今ナウ道に迷っているとお思いの方は、逆から、

「したいと思わないことはしない」

「しなきゃいけないことしかしない」

のセットはどうでしょう。

これも最適化の放棄の一例です。

もし、やむにやまれぬ事情で「空白を全部埋める必要」が生じたら、適当に東大話法的

にごまかすといいでしょう。 無意味な先人の話とか。

自信満々口からでまかせで。

創作では使いにくい技ですが、「決めておく」のも手です。 マーク・ザッカーバーグさん(Facebook)がいつもおんなじグレーTシャツとジーパ

ンなのは、服なんてことに決断力を使いたくないからだ、 味付けに困ったらオイスターソースで炒める、 とか。 と聞きました。

●スマート&シンプルは結果

それを志向すると歪みます。 を足せばよい」という構えから導き出される答えがたまたまそうなっているのであって、 スマートだったりシンプルだったりすることは結果であって目的ではありません。 用

剰な圧が掛かります。 「必要十分」がポイント。「シンプル」というと「要素を減らす」という本質的でない過

が始まってしまうので、適度に。 言い換えれば「最小労力化」ですが、これまたあんまり「最小」とか言い出すと最適化

「雑巾じゃなくてクイックルワイパー使った方が何かと楽だなあ

ねて余分を切っていけば、 作品には「ホカニナイ」が実現されていればそれで十分価値がありますから、 十分にシンプルになります。むしろそこで捏ねて、 「完成度を 推敲を重

むと、手の込み方に目が奪われる。 上げて」しまうと、なんだか昔からあったモノのような気になって、 逆効果です。手が込

それを見て「キレイだ」と思ったのでしょう。でもそこへ近づくと、肝心のホカニナイ度 それに、「キレイにしよう」とすると、既存のものに寄って行くのです。おそらく以前

ここが罠です。

が減っていく。

もう一つ創った方が、誰にとってもしあわせではないでしょうか。 「もっと美しく」も最適化であり、そこで血道を上げるぐらいなら、 なにか新しいものを

を何冊か読んだのですが、やはり手段が目的化してしまっていて、「物を減らす」ことを 最近 「断捨離」や「ミニマリスト」が注目を浴び、そういう生活をなさってる方の著書

活」であって、「物がない生活」ではありません。 もちろんそれはそれでいいのですが、普通の人にとってやりたいことは 「きもちいい生

楽しむ方も散見されます。

「手ぬぐいならすぐ乾くし風呂あがりもこれで拭けば十分」

それはそうですがやわらか~いバスタオルがパーッと水分を吸収してくれる気持ち良さ 人生から捨てがたい。

もしれませんね。 でモノに溺死する恐れからも、 日 ータス、「用を足す」という考え方は、過剰な断捨離からも、 距離を置けます。 創作より生活で役立つマインドセット もちろんガラクタ屋敷

●「わかりやすさ」の価値低下

ないか、と九○年代後半から○○年代中盤まで思われていました。 わかりやすさ、すなわちユーザー・インターフェース(UI)の良さは大きな価 値 では

る」など)顧客はほとんど気にせず喜んで買ってくれることが判明しました。 ほとんど絶望的なUIであってもやりたいことさえできれば(たとえば「LINEが使え スマホ時代が到来して、OSでもアプリでもwebサービスでもハードウェアでも、

つまり美質ではあるが価値は無い。

意味が無いのです。自分の好みでやる分にはいいですけど。 を与えるライバルと顧客を奪い合うなら別ですが)創作作品でそこを練るのは、あんまり くれるわけでもエキストラコストを払ってくれるわけでもない 無いというと言 い過ぎかもしれませんが、「わかりやすい」からって人は (もちろんほぼ同等の便益 興味 を持

●「リアリティ」という曖昧模糊とした言葉

僕はサッカー日本代表に「決定力」がないのは、 「『決定力』という言葉を使うから」

ではないか、と思っています。

にも進まない。 ない」とか、具体的に改善あるいは努力ができる点に分割して語っていただかないと、 「シュート技術の無さ」とか「ゴール前で落ち着いて技を繰り出せるほどメンタルが強く 「決定力」て一体なんですか。 な

同じような言葉に「リアリティ」があります。

つくったモノである以上、リアル(現実)ではありません。

リアルっぽく見えることは創作物に、ある方向の魅力を持たせるための一手段に過ぎず、

目的ではありません。

似た言葉に「クオリティ」もあります。

ょう。その時点でおかしいのです。つまりクオリティを問われている時点で「ホカニナ これもよくわからない言葉ですが、おそらく何かと何かを比べて高い低いと言うのでし

●枠外からクロスを放り込め

人間は決まった「枠」で認識したがります。

その方が楽だからです。

ここでは是非は問いません)、普通の人は枠内でしか考えられなくなる。 な頃から懇切丁寧に刷り込みますので(社会生活を営む以上それはある程度必要なので、

これは生まれつきなので、なかなか変えられません。しかも「教育」が「枠」をちいさ

何万人かに一人、この枠が構築できないか自分で壊せる人が出て、それを天才と言いま

す。ただ、そうでない凡人でも、

- 「枠がある」
- 「枠の中で考えがち」

感じたり、 という意識を持つことはできます。意識を持てば、がんばってその外からモノを考えたり つまり認識したりすることは、けして不可能ではない。

芸術家の(特に近代以降の)よい作品は、なべてこの、

「枠を意識させる」

という効果を持つもの、だと言ってもいいかもしれません。

が悪い。どちらにせよ胸がザワザワして、心に残る。 枠を広げられるとキモチイイですし、お前の枠はこんなもんだ、 と指摘されれば気持ち

どちらにせよ、枠内でのネチョネチョプロレスに巻き込まれてはいけません。

批評家が小鼻膨らませて何か言い出すようなのをつくってちゃダメだ。ヤツらが黙殺す

●チャカス

るものをつくれ。

能力を持つ人・持てる人は実はかなり少なくて、ひょっとするとできるひとにしかできな 「枠を意識する」を大雑把に換言すれば「メタ思考」とも言えます。 この「メタ思考」、つまり「問題のレイヤーの上下を自由に行き来できる」という思考 しかし絶対音感が無くてもチューナーを使えば誰でも楽器のチューニングができますよ 絶対音感とかそういう類の天性センスではないか、と怪しんだりもします。

うに、メタ思考力が無くても枠組から外れる小技があります。それが

「茶々を入れる」

自動的にそうなるのですが、始終チャチャを入れて入れられて、話が先に進みません。 そのチャチャを乗り越えるような力が、その話に無いんですね。だとしたら別にどうでも こと。違うレイヤーのツッコミで話の腰を折ることですね。 い話かもしれない。 言いたいことがある時はちょっとイラッとしたりもするのですが、しかし考えてみれば、 関西のおっさんと話をしてると、いや自分がもうそういう歳なので、旧友としゃべると

ホカニナイ展開が生まれるかも。 自分で茶化してみて、それに耐えうるかどうか。 創作より批評の方が一○倍簡単です。 あるいは、 枠外からの視点で見れば、

がいいですよねえ。 というかメタ思考なんて高度なことができれば、それを活用してお金儲けでもしてる方

●まとめると、

いたいことを言う。

余計なことは言わない。

意図しない効果は期待しな 大きく美しく見せようとは ° () しな ە ر ۱

記号そのものの性能 バランスは考えない。 (精度・密度)

を求

めない。

狙いはひとつ、ホカニナイ。 クオリティも考えない。 リアリティは考えない。

進め方

群 も出会うと思いますが、 「仕事の進め方」的な御本はたくさん出てますから、いつかご自分にフィ 一の実績があるわけでもないので、なんの参考にもなりゃしないかもしれませんが。 最後にちょっと視点を変えて、進め方的なおはなしも。 僕がボンヤリやってるのをひとつ。 もちろんぼかぁ著名人でも抜 ットするも

まずとっかかる

モ」を掴むとあとはそこめがけてまとめていけばいいので、速い しかし、やってみないとほぼ絶対、「キモ」はわからない。だから必然的にロスも出 とっかかって、しばらくやっていると、どこが今回の「キモ」かわかってきます。 &楽勝です。

プロトタイピングとかサムネイリングとも言いますね。

す。それはしょうがない。

トがあったので、ちょっと演色性の高いいいLED電球を一五○○円ばかり出して買いま して取り替えまして、使っていました。 前記のデスクライトの件ですが、ヨータスとばかりにとりあえず古い白熱球デスクライ

結果、僕の使い方ですとアームが短すぎてとても使いにくいことがわかり、やっぱり新

しいの買おう、と。

かなぁ……」と思ってしまうかもしれません。 かもしれませんし、よしんばたまたま正解を掴んでいても、「あの一万円のでもよかった くれていますし、その際に納得もなかなか得難いものも与えてくれてい この一五○○円は一見無駄なようですが、新しい投資をする時に正しい方向性を示して これをやってなければ、カッコイイけどアームが短い一万円のライトを買ってしまった ます。

とっかからないと全体像見えません。

3ステップ

流れとしては、還元して・分割して・作業する、の3ステップです。

1 物理作業に還元する

料理でいえば「レシピ化」。 判断という重いタスクを極力減らせるように、判断基準を外部化します。

2 少しの時間でできる量に分割する

料理でいえば「下ごしらえ」。 パートごとに分けます。家だってパーツは工場で作って持って来ます。

3 作業する

料理でいえば「味付け」。あとはコツコツ小部分を作り上げて、組み上げる。

まあでも、進め方はどんなんでもいいと思います。サグラダ・ファミリアだってレンガ

よくとか、それも最適化なので、思い詰めない方がいいですね。 一つ一つ積んでいけばいつか出来上がるわけですから。あんまり簡単にしようとか、

●まとめつ

なるし、それは想像よりもずっと労・量・質ともたいしたことはないのです。 目的(ホカニナイ)をしっかり狙っていれば、手段(ヨータス)はおのずから明らかに

しゃべれるようになるのは、それが生活(仕事)手段だからです。これを「外国語そのも のを学ぶ」と捉えると一生大学に残っても齧る程度しか触れられない。 スポーツ一筋の青年も、移籍や修行で海外へ飛び出すと瞬く間にペラッペラに外国語を

「用を足せる」かどうかだけ。

■3 ネッツ

――「熱さ」があればなんでもできる

●前フリ

要です。しかし、「こうすればできる」では人は何もしません。重い腰を上げるのは、 ここまでホカニナイを考察してきました。それを実現するヨータスという制作態度も重

英会話はこうすれば必ず上達する。「こうしたい」という情熱です。

それだけではやらない。

ネトゲで知り合った英語を話すあの子が、こんど日本へやってくるんだ。 ようし。

これで世界が動き出す。

大変あたりまえなことですが。 たとえ飛行機を降り立ったのが香港人のおっさんだったりしてもです。

ィエゴ・シメオネ率いるアトレティコ・マドリードは、もっと予算の多いバルセロナやバ 相撲でも心・技・体、サッカーでも戦術・技術(選手構成)・モチベーション。闘将デ

イエルンを、 気迫ひとつでブッ倒すのです。 いつだってハートがエンジン。

・ネッツ

これ要するに「熱」であればいいのではないか。 それだけだとアリキタリなので、一捻り考えてみました。

精霊のような繊細で壊れやすく優しくてあたたかなものをイマージュしつつ微笑みながら ウットリ語りがちですが、もちろんそういうのでもいいのですが、はたしてそれでなけれ 私たちはハートとかソウルとかを問題にする時に、何か崇高なもの、たいせつなもの、

そんなことはないわけです。

ばいけないか。

きなのですが、 の友人に医 師 彼の名言に、 が いまして、 若くして大企業付属の大病院の部門長任されるような腕利

という自嘲と自尊の混じった言葉があります。「医者はイヤイヤやってても人の役に立つからな」

これまったく真理です。

ままに挙げてみましょうか。 ものが全力解放されればそれでいいのであって、そのトリガーはなんでもよい。 モチベーションが沸騰し、本人の能力……技術・知恵・知識・経験・ガッツ、 思いつく そういう

- ・ 好き
- ・楽しい
- 得意/向いてる
- ・夢中になれる(やってるとやりたくなる)
- 金
- ・名誉・賞賛
- ・モテたい
- ・自己実現
- 人にどうしても伝えたい・薦めたい・知らしめたい奥さんに読ませる(身近な人を喜ばせる)
- 日記(記録欲)
- ・絶対正義(家事のような「生きるのに必要なこと」)

- ・使命感「オレが書かなきゃ誰が書く」
- ・義務感(締め切り・しょうがない・男なんだろ?)
- ・家系(陶芸名家の一八代目)
- ・恐怖心(これ作らんとクビになる)
- · 依存症

現実逃避

・歪んだ愛

が待っている、など)緊急避難的にそれもありかもしれません。アートセラピーてものが い、のは一般的にはそうですが、 人と社会に迷惑を掛けたり、自分の心身を壊したりするようなエンジンは使わない方がい 字通りガブ飲みしながら、狂ったように小説を書きまくったのは有名な話です。 だんだん変なとこへ行ってますが、バルザックが借金を返すために日に珈琲を五○杯文 しかし場合によっては(アトリエの外にもっと酷いこと あんまり

ちいさな男の子がやってきた。 友人のご両親がもう七○の声を聞くのですが、娘さんが出戻ってこられて、ある日突然

あるぐらいですから。

もうお世話が大変です。ご夫婦でひーひー言ってらっしゃる。

した。そりゃやっぱり「世話をせねば!」と強く思ったからだと思います。 大変さや制約も、時に強い力になる。 でもお二人とも、この時期に命に関わるような大病をされたのですが、無事生還されま

してみました。 ではなくて「熱」さえ出りゃあなんでもいいんだ、という感じを出すために「ネッツ」と これひとことでいえば「情熱」なのですが、この言葉はあまりにいい語感なので、そう

)それは変わる・変わり続ける

どうでしょう。

ネッツのポイントは、

- 人によって、また場面(作品)によって違う
- ・さらに変化し続ける

という点です。

よって時期によって、燃料は変わるのです。 人によって違うのは直感的におわかりいただけるかと思いますが、同じ人でも、作品に

ように思います。 ます。ミハエル・シューマッハ (ベネトン→フェラーリ) やヴァレンティーノ・ロッシ (ホンダ→ヤマハ)の例が有名ですが、これの大きな要因が、「モチベーション維持」の モータースポーツではチャンピオン経験者が絶頂期にチームを移籍することがままあ

持ち方をする人もいますね。熱いので人気は高いですがしたたかな選手に負けたりするん る」とか、新しい目標を持つ必要がある。(逆に「毎試合勝ちたい」と微分化した目標の 簡単に気持ちが盛り上がりません。だとしたら、「自分が新しいチャンピオンチームを創 ですよね。そこがまた人気を博したり……) 年間王者という究極目標をクリアしたら、「さあ来年も同じことを」と言われてもそう

ら書き換える。書き換えようがなくなったら……引退ですかね(笑) この燃料ではもう燃えない、と思ったら、新しい燃料を探す参考にもなる。変わってきた この時、前もって言語化しておくと、振り返ってまた燃料をくべることができます。

でもレイヤーを変え視点を変えれば、どこかに熱の種はあるはずです。

ょうから、たいていの場合はそこに還ればいい。 もともとが創作というのは「いつのまにか絵筆を握っていた」的なスタートが多い

うに思います。 ないものが覆い被さってて、それが魂を呪縛している、暗く狭い所に閉じ込めている、よ そこまで萎んでしまっている場合、それは魂が萎んでしまったのではなく、なに だからそのよくないものを排除するのが先だ。 いかよく

しかし魂を守るのは理性や意志だ。魂のことは魂にまかせよ。

もちろん人によっては、同じマイ・テーマを一生追い続ける人も居ます。

戦直後、 「なぜ」を追求する膨大な作品群に結実したのです。 たとえば司馬遼太郎先生は自分の作品を「二○歳の自分への手紙」と表現しました。 「日本はなぜこんなことになってしまったんだろう」と呆然とした思いが、その

変わってもいいし、変わらなくてもいい。

やお前はどうなんだ、 と問われると、 少ない自作を並べて眺めるとやはり、 力 ツコイ

イ言い方をすると、

「抑圧からの解放」

ですかねえ。

ありました。挟んでくるものはいろいろです、矛盾多き世界、無意味に思える社会規範、 学生の頃、若手社会人の頃、それぞれに「万力で挟み込まれるような」気分のことはよく 理性も理屈も道理も無い人間の行動、恋愛の苦悩、周囲の無理解…… 僕は ものすごく恵まれた育ち方をしていると思うのですが、そんな僕でも、子供 0

友だちや、創作物(本、ゲームマンガアニメ、絵……)はそれをひととき忘れさせてく

れました。だから好きです。

ずに受けていた抑圧から解放されている、そんな立派なものが書きたいのですが、まあそ んな力はいまだありません。 本当は抑圧とそこからの解放そのものをテーマとして、読み終えた時にはその人が知ら

ンのように、痛み止めにでもなってもらえればこれ幸い。 でもそこまでいかずとも、僕を慰めてくれた様々な作品のように、 頭痛の時のバファリ

の存在そのものが、 恩返しじゃないですけど、「世界はそう捨てたもんではない」と言い切ってくれる誰か 「世界はそう捨てたもんではない」という事実、あるいは証拠なんで

す。だからそう言っていたい。

●火は点けるもの

「情熱は湧いてくる自発的なもの」

という思い込みが私たちにはあります。

え上がるかもしれませんが、燃料はもってきてくべることができます。

でも、上で見たように、「情熱の燃料」は人それぞれで、たしかに情熱の炎は勝手に燃

言葉にして確認しておくのもだいじだと思います。変化していくこととセットで。 でもその燃料は、本人にとってあたりまえすぎて、容易に見失ってしまいます。

「胸のエンジンに火を点けろ」「宇宙刑事ギャバンが叫びます(串田アキラ先生の声で)

火を点けるのは自分で、勝手に点くもんじゃないんですね。

まあ最近は自動運転車が話題なので、そのうち勝手に点くかもしれませんが……OK

Google.

アントニオ猪木さんも、闘魂を注入しながら、

だから

「元気があればなんでもできる」

と叫びます。身体的な元気さや精神的な平安は、待ってて訪れるものではなくて、行動し てるとそうなってくるもの。

やるとやる気が湧いてくる。

その最初の小さな山、「よし!」と立ち上がる、この立ち上がる瞬間こそが意思の使い 気合いの入れ所。

りません。逆に始まったら前提としてそこに既にあるので、みんな話題にしない。という ことは、始まる前にたぶん一番必要なのは、これなんですよ。 二一世紀に入ってから、人類はこの熱を軽視しすぎではないでしょうか。 もちろん熱だけではいかんともしがたいことが多いんですが、無いとそもそも話が始ま

●生々しく

ちょっと余談ですがここまでを

「その実現に必要なだけの資源を投入し」「いままでに無いものを探し」

「熱を持って行う」

しまいます。 かように、 般化して書いてみると、なんだか中学校の卒業式の校長先生の訓話みたいになって 内容は同じでも言葉によってずいぶん印象が変わるもの。 別に創作に限ったことではなく、人生一般そうですし。

てはその威力を引き出して、その魔力に屈してはいけません。

新しい言葉を繰り出して、その魅力を伝える工夫をする。もちろん一万の機種のお買い得 当たりにして「言葉は無力だ」と諦めてはいけません。一〇万の機種の気持ちよさを表す ったく別物の)ユーザー体験ごと十把一絡げにしてしまう言葉ですが、その破壊力を目の たとえば「スマホ」という言葉は一〇万円の高級機から一万円の普及機まで、その (ま

さを表す言葉でもよい。

音でも線や色でもおそらくそうでしょう。もちろんそちらの方が効果的な場合も多いと思 いますが、おおよそライヴな方がホカニナイですから、気をつけたいものです。 言葉だけではなく、この「思わず普遍化・一般化すると味わいが落ちる」という現象は

なまなましく(固めて殺さずにモラモラしたままで(完成させずに

熱く(弄り回すと冷めちゃう

いいでしょ、こっちの方が。

●ここまでまとめ

今回のミッションは、

- 「創作に必要な要素」を、
- 「外部化」して、

「機械的に具体的に物理的にコツコツできること」に変換する。

・目的……ホカニナイという流れです。その結果、

- ・技術……ヨータス
- ・情熱……ネッツ

というヴィジョンが得られました。

三つ揃って抜群の威力を発揮する。 最初に述べましたように、これらは三位一体であり、どれひとつ欠けても物足りない。

「ちょっとひと味足りないな?」

と思ったら、どれが足りないのか判定して(ここまで単純化してあれば、すぐわかるでし ょう)、あとはそれを補うもよし、やり直すもよし。

また長い創作生活の間には、

「どうもやる気が出ん」

というネッツ不足な時もあります。そんな時には、

- 睡眠不足
- ・元気不足
- ・神様が「(まだ)やるな」とおっしゃってる

だいじょうぶ、あしたはいい日です。てまた明日トライしましょう。大好きなカツカレー大盛りでも腹に詰め込んで、グッスリ寝のどれかもしくは複数です。大好きなカツカレー大盛りでも腹に詰め込んで、グッスリ寝

■4 理屈

――メカナイズを味方に

●メカナイズ

の軌跡ですので、ご興味なければここで閉じてください。 と、ここまででヨータス!と終わりにしてもいいのですが、蛇足を。なぜこう考えたか、

今回いろいろ考えててフト気がついたのが、

「mechanize(メカナイズ=「機械化する」)を活用できないか?」

ということです。

しになりますが、簡単にご説明します。 ながたの今までのこの系列の随筆(『作文メモ』など)をお読みになった方には繰り返

僕は、

「人間にはありとあらゆる活動を機械化(自動化)しようとする習性がある」

という仮説を持っています。

外ではできるだけ使いたくなかったはずです。 ものすごいエネルギーを喰うので、始終飢餓の恐怖があった野生においては、ここ一番以 のは効率化、「脳を使わなくてよくなる」ということだと思います。ご存知のように脳は 理 「由は様々あると思うのですが(検証できないので妄想にすぎませんが)、一番大きい

サピエンスという生物の、長所裏返しの短所ではないかと。 これが(大)脳という素晴らしい器官を発達させることによって環境に適合したホモ・

電車の中で何も考えずに音楽聴きながらできるようになったり、しているわけです。 つ払ってても乗れるようになったり、スマホのフリック入力のような繊細で忙しい操作を もちろんこの習性のおかげで、普段は、自転車のような複雑な操作が必要な乗り物に酔

先するようになります。すると、 ところがこれが強力に働き過ぎると、手段の目的化、つまり「脳を使わない」ことを優

「いままでやってきたことをなにがなんでも変えたくない」

とか、

「そんなことでガンが治るなんてありえない、あいつはエセ科学を広めるテロリストだ、

似せ!」

とカ

「生活なんていつも同じ。退屈で死にそう。いや死ぬ」

ないか、というぐらい、クリティカルな悪さをするようになります。 とか、まあとにかく人間生活つまり人生において、「不幸の原因」はこれに尽きるのでは

·みしてケチケチ使っていた脳を、さらに使わなくもいいようにいいようになっています。 これでさらに不幸になる。 まして物質的に豊かになり、安心・安全・便利・快適そして暇を得た現代人は、出し惜

は何も使わなくていいのに防御機構だけ残って監視しているので、「使え」と言われると 昔は脳を使うことがたくさんあったので、使い過ぎないための防御機構だったのに、今

発動して「使いたくない」と発狂する。

テムしか持ってない人体が困り果てて、糖尿病になる様子にも似てます。 という昔ならありえない状態に、不足用ならいろいろあるのに過剰用はインスリン・シス なんだか『天空の城ラピュタ』のロボット兵みたいですね。あるいは「血中糖分過

そが、「人間らしさ」をキープすることだ、できることだ、と考えました。そして今まで いろいろそのためのやり方・考え方を、考えたりやってみたり、試行錯誤してきました。 ともあれ、ですから僕はこれ、つまり機械化・自動化の流れに棹さして対抗することこ

特に創作方面において。

ところがどうもうまくいかない。

才ですね) てはわりと微力ひどいと無力で、 理屈では綺麗に決まっていても、 結局流れ流されてIt's automatic.(宇多田ヒカルは天 いや綺麗に決まった理屈の方が、 実際に実践 の場 能お

益を享受しているわけですから、そんな都合よくある特定の場面だけその力をスイッチO 特に真逆の方向には。まして生活上、その機械化・自動化の力もおおいに使って、その便 年も掛けて鍛え上げられてきた能力であり、そう簡単に変えられるものではありません。 F F 考えてみれば、いえ考えるまでもなく、動物の本性というものは生きのびるために何万 なんてのがそもそも異様に困難なことです。

で、あるならば発想を変えて、その力を利用してみよう。

イメージは筏で川を下る船頭さんです。

流れそのものとか、速さとか、どこへ着くかとか、そういうのは彼にはコントロールで

能とか、航路とか法律とか天候とか、飛行場の状況とか、「枠組み」だらけです。しかし その中で、彼と愛機は自由に空を飛んでいる、 きない。でも転覆したり岩や崖にぶつかったりするのを避けることはできる。 飛行機のパイロットでもいいかも。空を飛ぶことにはすごく制限があって、 のもまた事実。 飛行機 の性

道はそこにあってただ歩んでいく。 あるいはこのような生き方が孔子の説く「道」なのかもしれません。

外れたら学んで改めて謝って戻る。

かし「利用する」と簡単に言うけど、この本能的な力をどうやって?

なにはさておき「見える化」が必要ではないかと考えました。 ま自分が何をしているのか把握すること。

そんなことはあたりまえではないか、とお思いでしょうか。

それがあなた。

全然ダメです、基本的に人間は今自分が何をやってるかなんて理解してません。

というか、そんなことをイチイチ頭で理解しなくても生きていけるようにしてくれてい

るのが、この力なのですから。

見るために、見えるように工夫する。そこで、この力をこそよく見るのです。

その工夫はどうするのか。

で、それが今回のポイントの「判断基準の外部化」なのです。

んで、それを当てはめて機械的に実行できるようにする。

判断という重い処理をするのを脳が嫌がる、だから基準をシンプルな一つだけに絞り込

そうすると機械は、その判断を採用して、思った方向に動く。

そんなに都合よく行くのか!?

さあ (笑)

きんとして、じゃその状態でできるだけのことをするにはどうするか」を考えた方が、 ただ「できもせんことをできると信じて膨大な努力を重ねる」より、「できんもんはで

歩でも前に進めるかな、と思いました。

下に潜って余計に悲劇を招く。オランダみたいにフルオープンフルコントロールにするの 薬物 とにかくこの得体の知れない機械化のドライビング・フォースに対抗するには、 日本のようにグレーゾーンで黙認知らん振りなのか、やり方はいろいろだと思います (酒と煙草を含む)・賭博・売買春、飲む打つ買うは人間のサガで、禁止すると地

なんて言ってるとなんだか少年マンガの敵役(シャアとか)みたいですけども。

にその機械化の力を使うしかない……

い人はそれでいい。 京大話法のところで触れましたが、正義の刃を振り回せる人は「強い人」なのです。 強

でも人間そんなに強くない。もちろん僕も。

弱い人の闘い方はジャムるしかなく、でもジャムには最低限必要なのが、

とその目で事実を「見ること」です。「いまこういう危機に晒されている」

したつけ。 腰抜けには腰抜けなりの抗議の仕方があるものです。 「黙ってトイレを詰まらせろ」で

るのなら、おおいに活用していきたい。 若干横道に逸れましたが、そんな感じで、自分のうちにそんな「非常に強力な力」 があ

ぞれ悩み出すとキリがない各パートを機械化するには、ホカニナイとヨータスとネッツな のかな、と考えました。 それを創作に当てはめる、 つまりコンセプトワーク・制作・モチベーションというそれ

どうでしょう?

●知性と理性の

話は変わりますが、 先日のAlphaGo対イ・セドル九段の戦いは熱かったですね。 私あ

れ観てて、

と感心しました。

「人間の『理性』や『知性』なんてこの程度のものじゃないのか」

棋譜を知り、どの形の時に次にどう持ってったら勝ちになりそうか試行錯誤を繰り返し、 AlphaGoのやってることは(もちろん秘密の部分が多いわけですが) 過去の膨大な

その後自分自身と何万局も戦ってその精度を上げる。

創作に直すと、名作読んで、真似して書いて、自分で推敲して、また書く。

クリエイティブ入っとらんのですよこれ。

ろそろAIの方が巧く書くでこれ。 たぶんラノベとかミステリとかレディコミとかハリウッド映画の脚本とかだと、もうそ

も行けんぐらいの科学段階の生き物が、自作の原始計算機を回すだけで、使用用途によっ 程度のことです。もし実際に神秘の力だったとしても、せいぜいこんな低レベルの、 であろうがなかろうが関係な ては人間=神の創作物を十分上回るパフォーマンスを叩き出せるわけですから、 性や知性とい いますと神様から授かった「神秘のチカラ」のように思えますが、 ° () 神秘 の力

かが) (天動説、 進化論に続 く人類の自己認識における衝撃的事件ではない かと思うのですが د را

だから知性や理性に過大な期待は持ってはいけない。

キュンとか、そういう「溢れるチカラ」を多少なりともまともな方向に噴出させる、 航海

それによって何かを生み出そうとするより、ボディとかソウルとかガッツとか

モエ

モエ

士とか検査官みたいな使い方をした方がいい。

「完成度は高められるはずだ」という信念は、 自分の批評能力つまり理性や知 性に

信頼が置けるからこそ言える話で、そんなものこの程度だとするなら、 ったのが一番」でない、って保証はどこにもない。 「最初にパッとや

があります。 ニュースを観ながら、なんだか肩の荷が下りたような、ちょっぴり嬉しさがあった覚え

●いろんなアプローチ

を挙げて、それを実現するように頑張ってみる、という考え方もあるでしょう。 とふと疑問に思った時に、考え方からしていろんなアプローチがあります。 「よい作品ってなんだろう?」 今回は「創り手の創作態度」から攻めてみたわけですが、たとえば「作品のよい特性 その場合、 二つほどいいネタがあります。

エラレル

役に立つ・伝わるもの。 「コミュニケーション欲」を満たすもの。

ジャッキ

読者の身体性 (現実) との接点がある。 身体感覚を揺すぶるもの。

ヌケるフィニッシュの大ゴマからエロマンガを構築するとか。 からお出迎えして、たとえば……泣ける別れのシーンからラブロマンスを組み立てるとか、 「エラレル」は要するに 「何か便益が手に入る/入りそうだ」と思わせるものです。

作者と受け手との間にコミュニケーションっぽいものが成立します。 こういうモノはとてもストレートに購買欲・所有欲をそそる上に、 副次的効果として、

「これでどうだ!」「それだよそれ!」みたいな。

(ほぼ)別問題として、コミュニケーションが発達する作品は「楽しい作品」になります。 コミュニケーションというのは一般的に楽しいものなので、作品そのものの力量とは

「ジャッキ」というのは惹起で、つまり受け手の中に何かを起き上がらせるようなもので

体験で、受け手は作品にとても強く食い付きます。 領域を叩いて、そこに眠る何かを目覚めさせたわけです。これは非常にインパクトのある 「キュンとくる」とか「萌ー!」と思わず叫ぶような何かというのは、受け手の無意識の

無意識の領域というのはフィジカル(身体的)な要素が大きいと思います。 私たちは普

段脳で判断しているわけですが、「キュン!」というのは脳が追いついてないですね です。「超人達のスーパープレイ」ではなく、まるで「自分がナイスゴール」。 TVでサッカーを観るのと、自分が汗と泥にまみれてプレイするのはまったく別の体験 これは楽

……どちらも「実現できれば」とても良い特質だと思います。

が、これがなかなか難しい。

しい作品です。

そもそも受け手は他人ですから、 他人の感覚なり身体なりをおもんばかりつつ行動する

のは大変疲れるものです。

すが、いやあしんどい(笑) 私も電機メーカーで商品企画やってた頃から延々、もう二〇数年もそんなことやってま

と考えました。無視や排除ではなく、隠蔽です。 で、今回は、むしろこの類の「お客様項」を隠蔽できるような仕組みができないかな、

ことをやれば、お客のためにも割となってる」という感じ。前述の「医者はイヤイヤー 「客のことなど知らん! オレはやりたいことをやる!」ではなくて、「オレがやりたい

一」です。

79

に感化される。 ホカニナイで目新しいものに触れ、 ヨータスで簡潔に情報を得て、ネッツで創り手の 熱

たいなれない。 や作品ではなくてサービスです。むしろそっちの方がいわゆるアーティストよりも天性や センスを必要とするんじゃないかなあ。保母さんとかホント凄いと思いますもん。僕ぜつ ュルジュやないんですから、箸の上げ下げまで手伝う必要はない、というか、それは このぐらいでいいんではないですかね。保育園の先生あるいはリゾートホテル 0) コンシ もは

どっちが偉いとか無いです。芸人は芸を売り、芸能人はサービスを売る。

「われわれのミッションは何か?」 顧客ファーストを強く訴えるP・F・ドラッカー先生でも、一つめの問いかけは、

です。 にすぎない。 なにをもって社会に貢献するか、それを考えろ。利益はそれを実現するため の手段

にアレンジしてください。まったく真逆でも可。いいのができればいいわけですから。 とりあえず本稿、あくまで僕が考えた理屈ですので、ご自身にしっくりくるよう、 適当

「語りえぬものについては沈黙せねばならない」

ば「神様が世界をどうやって創ったか」と同じですから、 としか言いようが無い。 ウィトゲンシュタイン の言葉ですが、 「創作の奥義」なんてその最たるものです。 「そりゃ神様だから創れるさ」

けられると、真実を得るにはその関所を通る他ないと思い込まされた聴衆が、延々と通行 料を払いますから、 をさも真実かのように巧く語れる才能があり、かつ自分しかそれを知らないように見せか ですから、語りえぬものを語ってるフリをしているといつまでも語れます。ここでそれ めちゃくちゃ儲かります。これが教祖や詐欺師の手口です。騙されて

いけませんよ。

ぼろげながらでもイメージしていきたい。 う表現されるかは語りうるはずで、そのへんを語ることで真ん中にある語りえぬものをお ただ語りえぬものの周りは語りうるものでできてるはずで、あるいは語りえぬ もの

とかそういうものを、なんとかカタチにしようという行為なのでしょう。 作品づくりというのはまさにそんな感じで、どうやっても語りえぬ「愛」 とか

まらないですよ。人間と同じです。 やズレが起き、おかしいところがあるものです。そういうヘンなところが無いものは、 つまり創作というのは本質的にどこまでも悩みを内包するものなので、矛盾が生じブレ

ちゃんとした芸術家は真実を語ろうとはしますが、語っていると誇ったりはしません。

語れてないのを自覚してるから。

どの「どうにもならないもの」に還元するのが嫌いです。 「どうにもならないものはどうにもならない」ので、僕は何かを為す時に、 性格や才能な

とか、優しさの欠如が周囲に困難を与えないよう注意するとか(あるいは注意してもらう 無いからダメな人間だ」というのは、だからただの愚痴です。誠実であるように行動する う意思や努力で成立するものに読み替えて、それを実行すればいいのです。 とか)やりようはなんぼでもある。 人ってそんなにいません。でも、そんなもの生まれつき備えてなくても、 読み替えればいいではないですか。たとえば「優しさ」なら、確かに生まれ 「誠実さ」とい 「私は優しく つき優しい

やらない理由を探すほど、無駄で無意味でくだらないことはありません。

どれも売れませんでしたけどねえ。僕なんか自分の作品どれもこれも大好きですよ(笑)才能なんか無くたって、いい作品は作れます。

それでも本当に、やってきてよかった、と思っています。

自分が自分であるために。

……これはちゃんと、「ホカニナイ」になってます?

「本来あらわしえないものをなんとかあらわそうとする行為 本編ですこし触れましたが、創作とはおおよそ、

です。

だってそれが「愛」だとわかります。「愛」などというコトバを一言も使わなくとも。 愛とか勇気とか夢とか希望とか、なんでもいいんですけど。 赤ちゃんがあばあば言ってるのを若いお母さんがにっこり見つめる、この絵を見れば誰

濃くて速くてぶ厚ければぶ厚いほうがいい。台風と同じです。いやさ、周囲の暴風が濃け れば濃いほど、真ん中の空洞はクッキリする。 創作は、純粋さを増せば増すほど、真ん中を「空」にして、周囲に渦を巻く。この渦は

まうわけです。 ここをよく作家たちも誤解したりふと忘れたりして、この真ん中を直接描こうとしてし

そうなるとなかなか厳しい。

の例のように描 いて描けんことはないわけです、 「愛ですなぁこれが」とかなんとか

言言えばい ° (

でも言えば台無

し。

で)」というマンガが昔から載っているわけですが、それはエロマンガでは決して無 少年誌には「こんなもんほとんどエロマンガじゃねえか、ケシカラン!(恵比寿顔

なぜなら肝心の真ん中が空白だからです。

エロマンガはそれを描く。それを描くものをエロマンガという。

え」ってもんではない。人間疲れてる時は和風健康十六穀米定食より、 もちろんどちらが上とか下とかではなくてアプローチの違いであり、 中華屋で餃子をア

テに生ビール呑んで帰って寝たい。

薬剤をダイレクトに患部にお届けするか、内側から体質からじんわり治していくか。

友人知人が第三者に紹介してくれる時たまに、 わた し文章屋としての生まれ・育ちが脚本です。 あと趣味で随筆。 そんなこともあって、

小説家のながたさんです」

なんて言ったりすると違和感がある。

やあ小説じゃないんですけどねえ。

「純粋だからえ

なぜそこに、ほとんどおんなじように見えるものなのに質的に決定的 に違いがある のか、

というと、ここなんですね。

てあるわけです。それを監督とかディレクターとか、場合によっては受け手・ユーザーさ 脚本は何か別の完成形に至るための素材ですので、「こうしてください」と結論が書い

んが、イメージを膨らませて、完成品を創りあげる。 小説は結論が書いてない。だから、その時点で完成品

「言いたいことを言わずに延々とそのまわりを描き続ける」 逆に言うと、もし小説が書きたければ理論上はとても簡単で、

でOKです。

ホントか?

ホント。なんでもいいから小説の名作を本棚から引っ張りだして読んでみてください

そうなってますよ。

じゃ何が難しいかというと、それでいて人が読んで納得するとか楽しめるとか、そこま

で持っていくのが、これが難しい。

明確に表現されていない、のでは、基本的に矛盾してるわけです。 基本的に「表現しよう」というのは「俺の話を聞けぇ」であり、そのくせ「俺の話」が

小説の大家が口をそろえて、

「小説なんか誰にでも書ける」

と言うのは、だから事実ですが、 るか、っていうとそれは別。 その時我々が想像するあの 「おもしろい `小説」 群が書け

ネコの可愛らしさを「可愛い」という言葉を使わずに表わしてみてください たいへんでしょう?

建て修行システムを構築し教義聖典を整備し音と踊りとしきたりと儀式で飾って「あるも の」にするわけです。あれ。 神様なんかどこにも居ないわけですが、それを寄ってたかって僧団を組み豪壮な寺院を だから宗教家(教祖)と同様に、 あるいは宗教 (神様)に比するとわかりやすいかもしれません。

ナズで (字本) で同称 v

それを伝えようとする意味の分からないオセッカイネス

・自分の妄想した虚構を「ある」と信じられる異常な精神性

が 両立していないといい小説は書けず、というとおわかりのとおり、 これはもう「才能

と表現する他はない。性格とかピーマン好き嫌いとかそのたぐい。 表現力とかそんなん要らないですよ。要らないというか、なんとでもなる。

わたし昔三〇数ページのマンガを描いたことがあるんですが、やってて痛感したのが、

「マンガの才能」というのは、

「一日中飽きずに同じような絵を描き続けられる」

もないです。 以外に何も必要なく、画力とか観察力とかましてストーリーテリングの力とかなんの関係

とではないかな、と。 と同じように、 「小説を書く」というのにもし才能が要るとするなら、上記のようなこ

ら、 価値観を認めることになる。 て、その周りをぐるぐるぐるぐる巡り巡って描けばよい。というか、そうするしかない。 またそうすれば、それはつまり、一方向から真実を追求する「のではない」わけですか 必然的にいろんなオルタナティブを許容することに繋がり、それはひいては、多様な かに、「本当のこと」なんて結局誰にもわからないんだから、そこは真空にしてお

「正解」とか「結論」が無い・出ないものを生産する、 というこの小説を書

を与えてくれる。 くという行為自体が、 一般的な社会、それらを急いで求めてやまない日常に対して、

「いやそんなこと言うけどわかりませんよ~」

と、どの方向の正義に対しても常に、暴走を思い止まらせる効用がある。 で、ご存知の通り正義はコロコロ変わる。正義を直接論じたコトバはそのとき力を喪い

ますが、小説は生き続ける。これが小説という芸術あるいは媒体が、長年その命脈を保っ てきた理由でしょう。

ああ、そこを加味すると、前述の「才能」にひとつ、

と言いつつ自分の書いてることが真空であることを忘れない冷静さ

商売人です。いやそれが悪いってわけではないですけど。 を加えなければなりませんかね。宗教家にはそれはない。 あったらそれは宗教家では

身体技巧も物体技術も、描くことの強さ・わかりやすさなら言葉を遥かに上回っても、 かないことはとても難しい。 小説は言葉モノだけあって、 「描かない」ならまかせとけ、という感じです。音も絵も 描

愛というのは「愛しているよ」と囁くことではなく、きょうの晩ごはんに彼女の好きな

小説的に言えば。

晴らしい」とかそのぐらいのことですけど) を届けたくてヤイヤイワイワイ言うてきたつ もりですが、どうも僕の言葉には真実味、真剣味、リアリティ、パワフルさが無いらしく なかなか誰のどこにも届きません。もうこうなったらなにも描かなくていい小説でも書く か無いんじゃないか、と思い詰めています(笑) 僕は自分の言葉(とそれによって描かれる真実-――といっても「ダイソンの掃除機は素

以上蛇足でした。

了

奥付

『ホカニナイ』

作者 ながたかずひさ 発行日 2016.8.14 mail nagata@mti.biglobe.ne.jp web http://rakken.net/ twitter KazuhisaNagata

